

## 千葉県戦略・行程表に関連する県の主要事業

(平成 30 年度当初予算)

### <留意事項>

- ※ 本資料は、「2020 年東京リ光° ック・パ° リ光° ックに向けた千葉県戦略」や「2020 年東京リ光° ック・パ° リ光° ックに向けた『オール千葉』の行程表」に記載された取組のうち、県が平成 30 年度に実施を予定している主な取組を記載したものです。(戦略や行程表に関連する全ての事業を網羅したものではありません。)
- ※ 今後、平成 30 年度に新たな取組を実施することとなった場合は、あらためてその内容をお知らせします。

## 戦略0 大会の成功・開催効果の全県への波及

### ○幕張メッセ大規模改修事業 1,236,410千円 (H29 798,300千円)

幕張メッセについて、今後の更なる競争力を確保していくため、老朽化が進んだ施設の大規模改修を継続していきます。

#### [主な事業]

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| ・特別高圧受変電設備・高圧発電設備の更新   | 86,040千円  |
| ・トイレ・中央エントランスのリニューアル   | 391,220千円 |
| ・エレベーター、エスカレーターの更新及び増設 | 309,030千円 |

### ○県立九十九里自然公園整備事業 91,700千円 (H29 56,693千円)

東京オリンピック・パラリンピックを契機に、県立九十九里自然公園の利用の増進を図るため、サーフィン競技の会場に決定した一宮町釣ヶ崎海岸地区に自然公園施設（園地）を整備します。

### ○治山事業（保安林整備事業の一部：一宮町東浪見） 286,640千円 (H29 - )

サーフィン会場の仮設施設の整備区域を含め、平成30年度から、植栽のための基盤造成として盛土を行います。その上で、組織委員会に対し、必要な区域を一時的に貸し出すこととし、オリンピック終了後に植栽を行い、保安林の再生を図ります。

#### 【整備スケジュール】

- |        |   |
|--------|---|
| 平成30年度 | 保安林再整備の基盤造成工事（県）                                      |
| 平成31年度 | 保安林再整備の基盤造成工事（県）                                      |
| 平成32年度 | サーフィン会場の仮設施設の整備（組織委員会）<br>サーフィン競技開催<br>保安林再整備の植栽工事（県） |

### ○千葉県GAP推進事業 13,070千円 (H29 3,100千円)

農業者の経営改善、東京オリンピック・パラリンピックへの農産物の供給や、これを契機とした輸出の拡大等を促進するため、GAP制度の普及促進を図ります。

#### [事業内容]

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| ・制度の理解促進を図るための説明会の開催  | 1,665千円 |
| ・指導員等の育成              | 2,475千円 |
| ・ちばGAP制度運営            | 3,930千円 |
| ・国際水準GAP等取得のための取組への助成 | 5,000千円 |

[事業主体] 農業者 等

[補助率] 定額

[補助対象] 審査費用、コンサルタント費用 等

## ○東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議事業

16,300千円 (H29 6,444千円)

スポーツや観光、経済など多様な分野の代表者で構成する推進会議において、キャンプ・国際大会の誘致、競技力の向上、外国人の受入体制の整備など、具体的な取組をオール千葉体制で推進します。

### [事業内容]

- ・推進会議活動費 9,345千円
- ・聖火リレー実行委員会活動費 6,247千円
- ・おもてなしプロジェクト推進費 708千円

## 戦略1 キャンプ・国際大会・MICE誘致

### ○キャンプ・国際大会誘致・受入事業 5,500千円 (H29 5,500千円)

市町村、競技団体との連携により、東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプや、国際大会の本県への誘致を進め、事前キャンプの決定した国・地域の選手団を受け入れるための準備を行います。

### [事業内容]

- ・キャンプ・国際大会誘致活動 1,500千円
- ・キャンプ地の視察案内・受入準備 4,000千円

### ○国際スポーツ競技大会支援事業 30,000千円 (H29 20,000千円)

スポーツの振興と地域の活性化を図るため、世界選手権などの国際競技大会の開催経費の一部を助成します。

### [補助対象事業]

- ・東京オリンピック・パラリンピック実施競技
- ・世界選手権やアジア選手権、オリンピック・パラリンピック予選大会などの国際競技大会
- ・交流会や体験会など、競技の普及や国際交流の促進に資する取組が行われるもの

### [補助率等]

- ・世界選手権又はアジア選手権に準ずる大会等  
開催経費の1/4以内(20,000千円上限)
- ・国際的な競技団体等が主催又は開催に関与する大会で、一定規模以上の大会  
開催経費の1/4以内(10,000千円上限)

[補助対象者] 県内市町村又は県内市町村が構成員となる団体、国内競技連盟

## ○千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業 24,500 千円 (H29 24,500 千円)

東京オリンピック・パラリンピックやプレ大会のキャンプ等の誘致を効果的に進めるため、競技ごとに調整が必要となる競技施設、宿泊施設など多岐にわたる事項について、ワンストップで相談・支援を行う「スポーツコンシェルジュ」を運営します。

[事業内容]

- ・キャンプ等誘致業務、スポーツツーリズムに対応した各種相談業務 17,246 千円
- ・HP等による広報 3,000 千円
- ・諸経費 4,254 千円

## ○国際会議開催補助金 10,750 千円 (H29 20,000 千円)

県内経済の活性化につながる国際会議の誘致競争力を強化するため、会議開催経費の一部を助成します。

[補助対象経費] 会場借上費、機材関連費、看板印刷物製作費 等

[補助率] 1/2 以内

## **戦略2 競技力の向上・スポーツの普及**

### ○東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業

115,000 千円 (H29 115,000 千円)

東京オリンピック・パラリンピックに本県出身の選手を1人でも多く輩出するため、ジュニア世代の選抜選手及び障害者スポーツ選手を強化する取組に助成します。

開催年に向けて、特に出場が期待される選手の強化に重点化していきます。

[事業内容]

- ・選手強化の取組への助成
- ・障害者競技組織の体制整備 等

### ○障害者スポーツ振興事業 19,000 千円 (H29 1,360 千円)

企業チームと障害者チームとの交流試合等を実施し、障害者スポーツを広く県民に周知します。また、県内にコーディネーターを派遣し、スポーツ体験会や教室を開催するとともに、貸出用競技用具を充実させるなど、障害のある人がスポーツに親しめる環境を整備します。

[主な事業]

- ・障害者スポーツ交流大会【新規】 3,400 千円
- ・障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業【新規】 9,200 千円
- ・障害者スポーツ用具貸出事業 4,425 千円

○特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業【新規】 12,000 千円

共生社会の形成に向けて、障害者スポーツを身近なものとし、スポーツによる地域との交流を深めるため、特別支援学校を拠点として障害者スポーツの振興を図ります。

[事業内容]

- ・特別支援学校における障害者スポーツの普及・啓発
- ・地域の小・中学校等との交流及び共同学習の実施

○総合スポーツセンター野球場耐震・大規模改修事業

381,800 千円 (H29 70,000 千円)

老朽化し、耐震性の不足する総合スポーツセンター野球場について、耐震改修等を行うとともに、施設機能の充実を図るために必要な改修を行います。

[事業内容] 改修工事 381,800 千円

[整備内容] 耐震改修、老朽化対応等改修、両翼・センターの延伸 等

[供用開始] 平成 32 年 4 月

**戦略3 成田空港の利便性向上、交通ネットワーク・アクセスの強化**

○成田空港活用協議会負担金 25,000 千円 (H29 25,000 千円)

成田空港を活用した県経済の活性化を図るため、官民が連携して設立した「成田空港活用協議会」の事業費等の一部を負担します。

[協議会事業 (予定)]

- ・成田空港を活用した経済活性化
- ・成田空港を利用する人流・物流の拡大

○交通安全施設整備事業 (一部：幕張メッセ・釣ヶ崎海岸周辺)

71,023 千円 (H29 - )

大会関係者や観戦客等の円滑な輸送の実現と交通安全の確保を図るため、競技会場周辺の信号機改良や道路標識の設置等を行います。

[事業内容]

- ・信号機改良 29,903 千円
- ・標識・標示整備等 41,120 千円

## 戦略4 バリアフリー化の促進

### ○福祉タクシー導入促進事業 70,000千円 (H29 70,000千円)

高齢者や障害者など、交通弱者の交通手段の確保充実を図るため、福祉タクシー車両導入に必要な経費を助成します。

[補助対象] 福祉タクシー購入経費

[補助率] 1/3

[上限額] スロープ車：600千円/台、リフト装着車：800千円/台

### ○鉄道駅バリアフリー設備整備事業補助 95,979千円 (H29 33,333千円)

鉄道駅を、高齢者や障害者をはじめ誰にでも利用しやすい駅としていくため、駅のエレベーターやホームドアの設置に対する補助について予算を増額し、整備を促進します。

[補助対象経費]

鉄道事業者または市町村が設置するバリアフリー施設（エレベーター等昇降施設、ホームドア等）の設備整備に対する市町村の実負担額（国の補助金等を除く額）。

[補助率]

市町村の財政力指数に応じ1/2～1/4

[事業内容]

①エレベーター等昇降施設 3市3駅 (H29 2市2駅)

(債務負担行為 2市2駅 (H29 1市1駅)

②ホームドア 2市2駅 (H29 なし)

### ○宿泊施設のバリアフリー研修（東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議事業の一部） 1,000千円【新規】

オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、宿泊施設のバリアフリー化を促進するとともに、従業員の大会に関する理解を深めるため、県内のホテル・旅館等を対象とした研修会を開催し、従業員の障害者・高齢者等への理解促進と対応力の向上を図ります。

## 戦略5 魅力ある観光地づくり

### ○観光地魅力アップ整備事業 280,000千円 (H29 300,000千円)

観光地の利便性を高め魅力向上を図るため、多くの観光客が利用する公衆トイレや駐車場、観光案内所等の設置・改修について、その経費の一部を助成します。

#### [事業内容]

#### 1 観光トイレ

- ・市町村施設 補助率：2/3 以内
- ・民間施設 補助率：3/4 以内

#### 2 トイレ以外

- ・市町村施設 補助率：2/3 以内
- ・民間施設 補助率：1/2 以内 (市町村補助 1/6 と合わせて 2/3)

### ○オール千葉おもてなし推進事業 14,000千円 (H29.9 補正 7,000千円)

千葉県を訪れる多くの方々が「また千葉県に行きたい」と心から思えるよう、オール千葉での「おもてなし」の機運を醸成するための取組を行います。

#### [事業内容]

- ・おもてなしシンポジウム等の開催 10,100千円

優れたおもてなしを実践している事業者等を講師に招いたシンポジウムを県内3地域で開催

- ・おもてなし事例等の調査に基づくリーフレットの作成 3,900千円

東京オリンピック・パラリンピック開催の2020年において、ボランティア活動等の中心となる世代である県内の高等学校等の生徒に配付します。

### ○食のおもてなし力向上事業 7,000千円 (H29.9 補正 8,000千円)

食に関する魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上を図るため、農林水産物直売所や農林漁家レストラン等の関係者に対する研修を開催するとともに、観光客が本県ならではの「郷土料理」を知り、味わえる環境づくりを進めます。

#### [事業内容]

- ・農林水産物直売所等おもてなし力向上事業 1,500千円
- ・「ちばの郷土料理」再発見事業 5,500千円

## ○外国人観光客向け千葉県周遊コースPR事業 5,000千円 (H29 5,000千円)

各国の観光客を県内観光地へ誘客するため、SNSを活用した外国人観光客ニーズ・動向調査の結果を踏まえて作成した県内周遊コースについて、冊子やSNS等を活用してPRを行います。

[事業内容]

- ・PR用ガイドブックの更新
- ・ガイドブック、SNS等を活用したPR

## **戦略6 外国人受入体制**

### ○外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業

100,000千円 (H29 100,000千円)

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、外国人観光客向けの無料公衆無線LAN環境を整備するため、市町村等が実施する取組に対し補助します。

[補助率] 2/3 (補助限度額 5,000千円)

[補助対象経費] 無線LAN利用カード作成費、ルーター設置費、会議費等

### ○東京オリンピック・パラリンピックに向けた受入体制の整備事業

11,500千円 (H29 12,000千円)

東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人観光客の受入体制を整備するため、外国語を併記した観光案内板の整備を進めるとともに、千葉県の歴史や文化、自然、風習などの知識を有する外国語観光ボランティアガイドを養成するため、研修会を実施します。

[事業内容]

- ・多言語観光案内板整備事業 10,000千円
- ・外国語観光ボランティアガイド養成講座開催事業 1,500千円

### ○海外観光ゲストへのおもてなし力向上事業 10,000千円 (H29 10,000千円)

東京オリンピック・パラリンピック等に向け、県内の観光施設及び宿泊施設の経営者や従業員等を対象に、先進的なおもてなしについて情報を共有する講習会を行い、オール千葉でのおもてなし力向上を図ります。

[事業内容]

- 1 「おもてなしの心」向上研修 1,600千円
- 2 「おもてなしスキル」向上研修 8,400千円

## ○訪日観光客商店街おもてなし事業 10,000 千円 (H29 10,000 千円)

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、日本を訪れる外国人観光客などを迎え入れるため、商店街が行う多言語による接客講習会や情報発信の取組を支援するとともに、新たに商店街の関係者を対象に訪日観光客へのおもてなし体制を整えるための研修会を開催します。

### [事業内容]

- ・商店街おもてなし支援事業 7,000 千円

[事業主体] 商店街団体、商工会・商工会議所

[補助対象事業] 訪日観光客おもてなし講習会、免税制度に関する講習会、  
多言語対応商店街ガイド（アプリ）・マップの作成 など

[補助率等] 補助率 1/2（補助限度額 3,000 千円）

- ・商店街おもてなしセミナー 3,000 千円

[対象者] 商店街関係者

[回数等] 6 回

[内 容] ・インバウンドやショッピングツーリズムに関する最近の動向  
・効果的なインバウンド対応の方法 ・インバウンド対応成功事例

## **戦略7 危機管理・安全対策**

## ○移動交番車配備事業 76,636 千円 (H29 76,636 千円)

子どもの見守り活動や「電話 de 詐欺」の抑止など地域防犯力の強化に加え、東京オリンピック・パラリンピック開催時における運用を見据えて、平成29年度からの2か年で10台（各年度5台）の追加配備を行います。

### [事業内容]

- ・配備台数 5 台（専従警察官 10 人）・・・配備済も含めて 60 台（専従警察官 120 人）
- ・配備先 千葉東署、行徳署、野田署、印西署、東金署

## ○市町村防犯カメラ等設置事業補助 70,000 千円 (H29 40,000 千円)

犯罪の起こりにくい環境づくりのため、市町村や自治会等における防犯カメラの設置に対し助成します。

[補助対象者] 市町村

[対象経費]

①防犯カメラの購入等に要する経費（上限 20 万円／台）

②防犯灯（防犯カメラと併せて整備）の購入等に要する経費（上限 5 万円／基）

[補助率] 1 / 2

[設置台数] ①防犯カメラ 430 台、②防犯灯 50 基

## ○防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業

106,487千円（H29 81,340千円）

防犯ボックスを活用し、地域の防犯ボランティアの活性化などによる地域防犯力の向上を図ります。

### [事業内容]

○県が設置した防犯ボックスの運用 48,417千円

防犯ボックスを拠点とした県・市町村・警察・住民が連携した防犯体制の確立を目指し、県が設置した防犯ボックスを継続して運用します。

### [実施個所]

4か所：千葉市中央区、市川市、柏市、船橋市

○市町村が設置する防犯ボックスへの補助 58,070千円

防犯ボックスの県内における普及を促進するため、地域の実情に合わせて市町村が設置する新たな防犯ボックスの初期費用や運営費について助成します。

・補助対象：市町村

・補助内容：①防犯ボックス設置費用（類似施設の移転、改修を含む）

②勤務員人件費補助（3名分） ※防犯ボックス運営開始後5年間

## 戦略8 機運の醸成・国際交流の促進

## ○オリンピック・パラリンピック文化プログラムを契機とした千葉の文化力向上事業

23,992千円（H29 13,618千円）

東京オリンピック・パラリンピックの大会機運を醸成するとともに、本県の魅力を県内外に発信し、文化振興と地域の活性化を図るため、東京2020文化オリンピックアードの一環として、世代や障害の有無を超えて交流できる県民参加型の文化プログラムを実施します。

### [主な事業]

・千葉・県民音楽祭実施事業 16,235千円（債務負担行為 30,000千円）

東京オリンピック・パラリンピックのカウントダウンイベントと連携して、プロの音楽家と一般公募の県民による参加型コンサートを実施します。

・ちばアート祭実施事業 6,364千円（債務負担行為 27,000千円）

千葉の文化的魅力を再認識してもらう取組として、県民投票により「ちば文化資産」を選定し、30年夏頃のカウントダウンイベントで公表するとともに、イベントを実施します

## ○オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業

9,000千円 (H29 9,900千円)

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進し、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障がい者への理解等を身につけさせ、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいきます。

### [事業内容]

- ・推進校（60校）におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践 6,000千円
- ・全国中核拠点との連携 639千円
- ・事業成果の普及

## ○オリンピック・パラリンピック普及・教育推進事業

37,600千円 (H29 37,556千円)

本県で開催されるオリンピック競技（フェンシング・サーフィン・テコンドー・レスリング）、及びパラリンピック競技（ゴールボール・シッティングバレーボール・テコンドー・車いすフェンシング）について、競技への理解を深めるために体験イベント等を開催するとともに、県内公立中学校において、中学2年生を対象としてJOCオリンピック教室を実施します。

### [事業内容]

- ・本県開催競技の普及・振興イベント実施 35,460千円
- ・JOCオリンピック教室の実施 2,140千円

## ○東京2020への機運醸成に向けた情報発信事業（一部）【新規】 24,236千円

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、県民の大会への関心を高めるため、県内開催競技関連の情報発信を集中的に行うとともに、SNSを活用した県民等からの情報発信を行います。

### [事業内容]

- ・オリンピック・パラリンピック関連番組放送

## ○東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアの確保・育成

17,829千円 (H29 11,220千円)

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を見据え、千葉を訪れる外国人観光客等へのおもてなしの充実に向けて、コミュニケーション支援体制を整備するため、ボランティアの育成に取り組みます。

また、30年夏頃、大会時に主要駅や空港等で活動する都市ボランティアの募集を開始します。

### [事業内容]

- ・外国人おもてなし語学ボランティア育成講座 3,935千円
- ・通訳ボランティア養成講座 6,000千円
- ・都市ボランティアの募集・運営【新規】 7,894千円

## 戦略9 戦略的な千葉の魅力発信

### ○東京2020への機運醸成に向けた情報発信事業（一部）【新規】 5,764千円

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、県民の大会への関心を高めるため、県内開催競関連の情報発信を集中的に行うとともに、SNSを活用した県民等からの情報発信を行います。

[事業内容]

- ・(仮称) 千葉の魅力発信隊事業

### ○食のおもてなし力向上事業（再掲） 7,000千円（H29.9補正 8,000千円）

食に関しての魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上を図るため、農林水産物直売所や農林漁家レストラン等の関係者に対する研修を開催するとともに、観光客が本県ならではの「郷土料理」を知り、味わえる環境づくりを進めます。

[事業内容]

- ・農林水産物直売所等おもてなし力向上事業 1,500千円
- ・「ちばの郷土料理」再発見事業 5,500千円

### ○オリンピック・パラリンピック文化プログラムを契機とした千葉の文化力向上事業（再掲）23,992千円（H29 13,618千円）

東京オリンピック・パラリンピックの大会機運を醸成するとともに、本県の魅力を県外に発信し、文化振興と地域の活性化を図るため、東京2020文化オリンピックアードの一環として、世代や障害の有無を超えて交流できる県民参加型の文化プログラムを実施します。

[主な事業]

- ・千葉・県民音楽祭実施事業 16,235千円（債務負担行為 30,000千円）  
東京オリンピック・パラリンピックのカウントダウンイベントと連携して、プロの音楽家と一般公募の県民による参加型コンサートを実施します。
- ・ちばアート祭実施事業 6,364千円（債務負担行為 27,000千円）  
千葉の文化的魅力を再認識してもらう取組として、県民投票により「ちば文化資産」を選定し、30年夏頃のカウントダウンイベントで公表するとともに、イベントを実施します